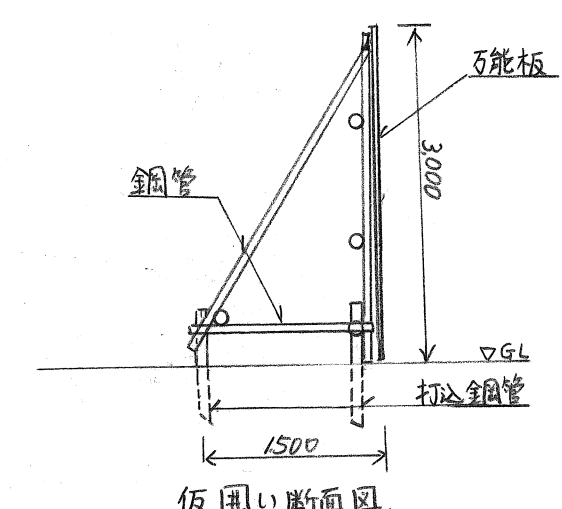
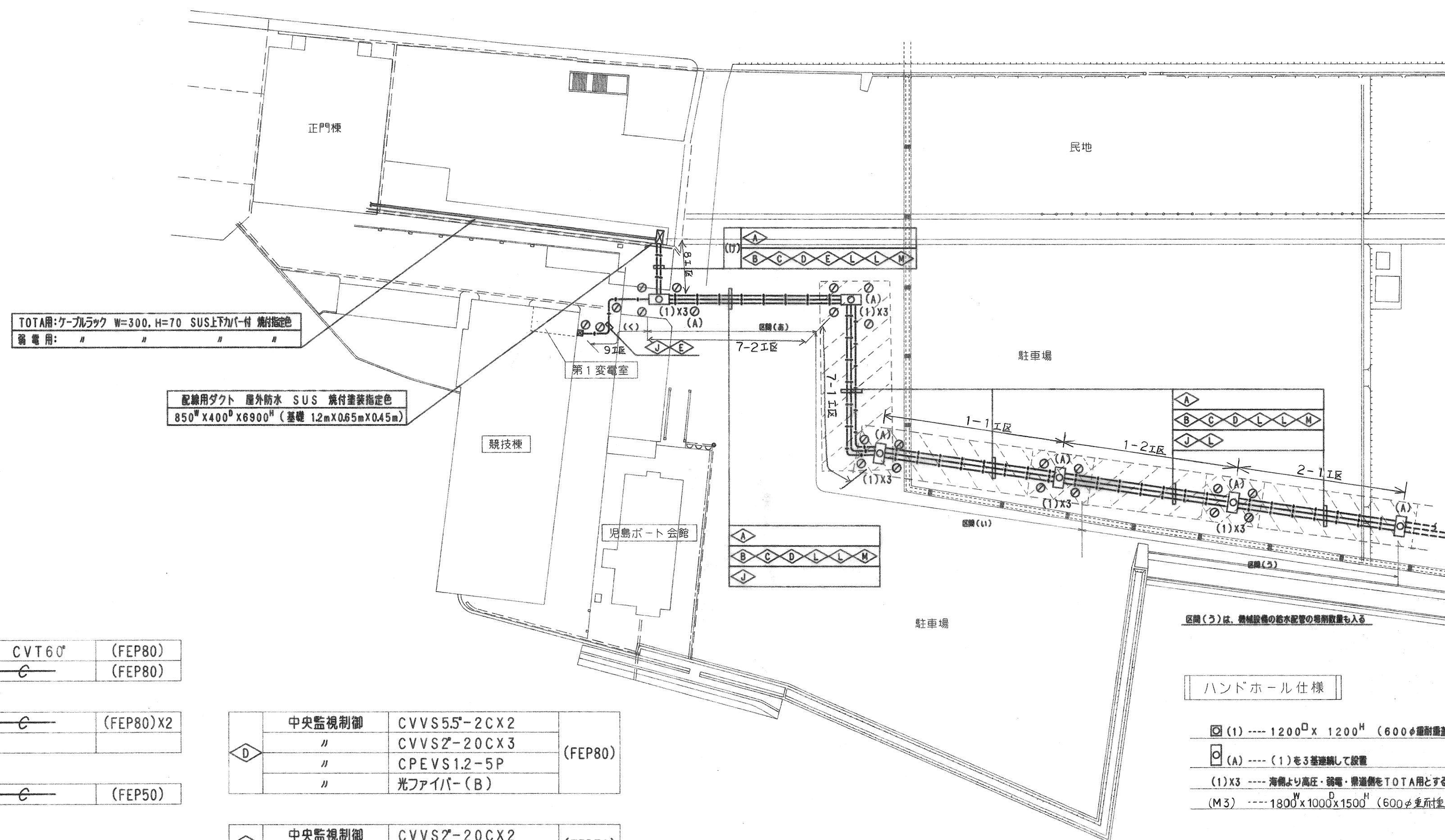


(TOTAL)		
A	—C—	(FEP100)X2
	—C—	(FEP 80)X1

B	電話	CPEVS1.2-30P	(FEP80) X2
	インターホン	CPEVS1.2-10PX2	
	タイムカード	CVVS 5.5'-10C	
	ヨビ	CVVS 5.5'-10C	

C	放送	HPS 1.2-10PX2	(FEP80)
	火報	HPS 1.2-5P	
	表示器	KPEVS0.75-5PX2	
	ITVカメラ	7C-FBX7	
	実況テレビ	光ファイバー(A)	
	ヨビ	CPEVS1.2-5P	



図面上の「仮囲い」は仮囲いの範囲を示す。

J	6KV CVT60°	(FEP80)
	—C—	(FEP80)

L	—C—	(FEP80)X2
---	-----	-----------

M	—C—	(FEP50)
---	-----	---------

D	中央監視制御	CVVS5.5'-2CX2	(FEP80)
	〃	CVVS2'-20CX3	
	〃	CPEVS1.2-5P	
	〃	光ファイバー(B)	

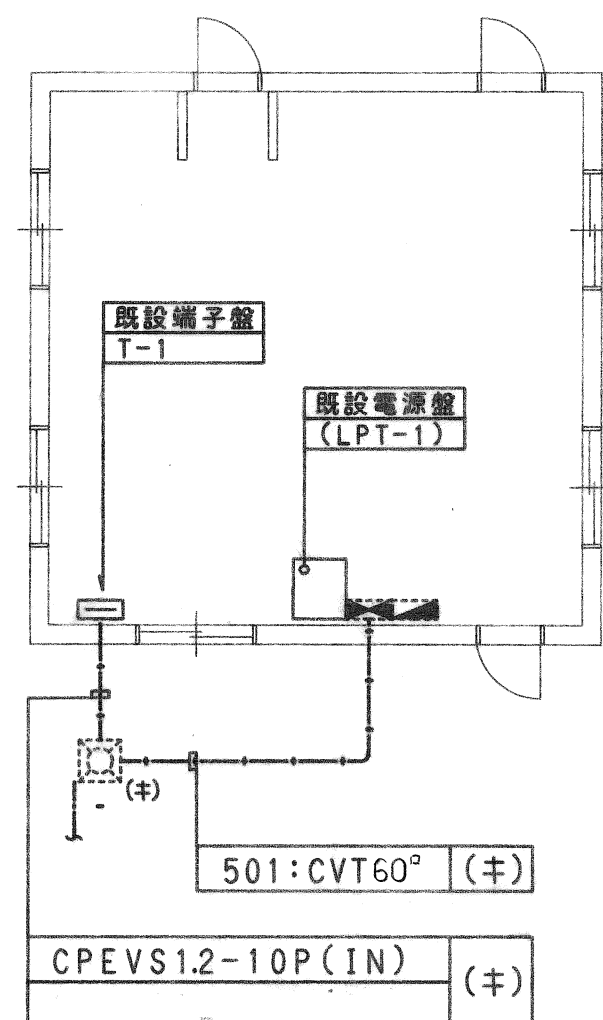
E	中央監視制御	CVVS2'-20CX2	(FEP50)
	〃	CVVS2'-15C	


配置図(1) 1/1000

ハンドホール仕様

- (1) ---- 1200[□] x 1200^H (600^φ重耐重蓋付)
- (A) ---- (1)を3基連続して設置
- (1)X3 ---- 海側より高圧・弱電・県道側をTOTAL用とする。
- (M3) ---- 1800^W x 1000^D x 1500^H (600^φ重耐重蓋付)

倉敷市建設局建築部設備課	担当	
工事名	倉敷市児島モーターボート競走場外向前売投票所電気設備工事	
図名	構内線路設備図(1)	
株式会社 鎌田建築設計		1級建築士事務所登録 東京都第3592号
1級建築士登録第4979 鎌田守逸	設計担当	平成9年度工事 9年7月作成
	図番	E-47/51

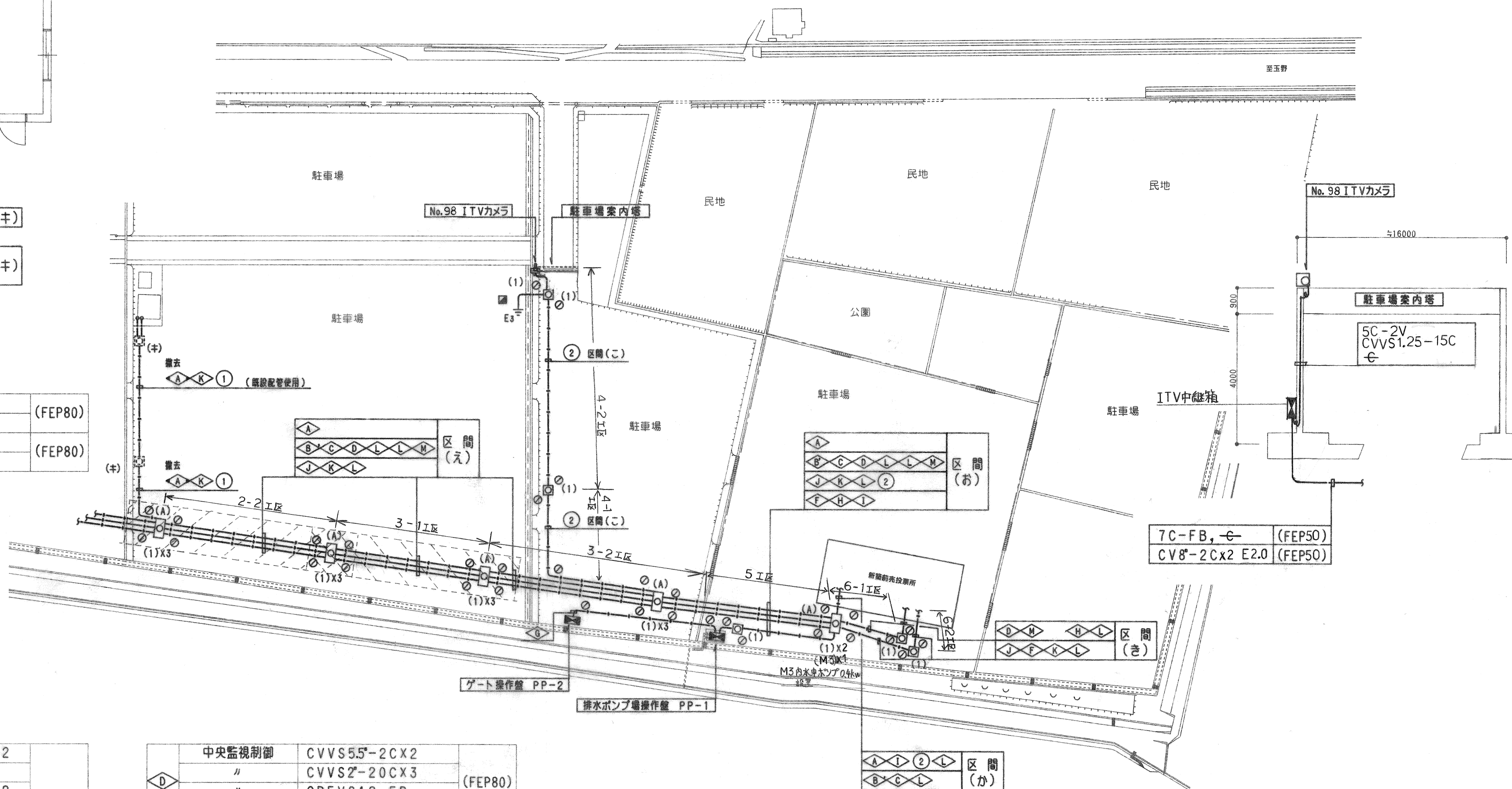
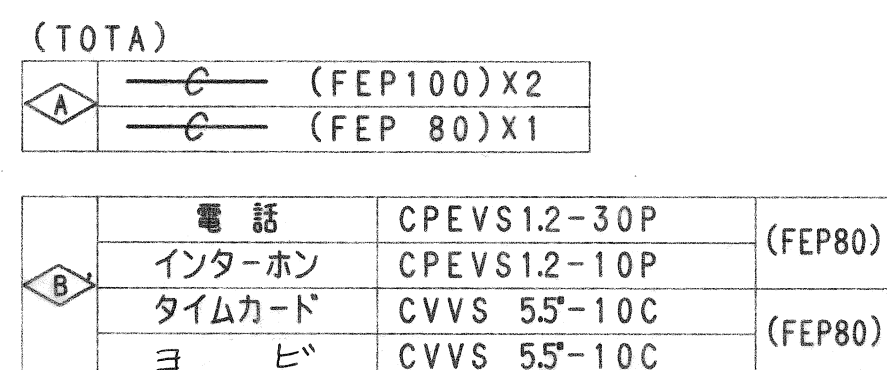


 撤去ケーブル
CV60°-3C (HP-150) ~

ガードマン控室改修内容

電源盤 LPT-1
1. モールト変圧器 15KVA 3φ440V-3φ200V-1φ200/100V (再使用)

①	CPEVS1.2-10P	キセツ
---	--------------	-----



◇C	放 送	HPS 1.2-10PX2	(FEP80)
	火 報	HPS 1.2-5P	
	表 示 器	KPEVS0.75-5PX2	
	ITVカメラ	7C-FBX7	
	実況テレビ	光ファイバー(A)	
	ヨ ビ	CPEVS1.2-5P	


D	中央監視制御	CVVS55 ² -2CX2	(FEP80)
	〃	CVVS2 ² -20CX3	
	〃	CPEVS1.2-5P	
	〃	光ファイバー(B)	

	<u>C</u>	(FEP80)X2
---	----------	-----------

		(FEP50)
---	---	---------

	404:CVT150° E14° (FEP100)	
---	---------------------------	--




②	ITVカメラ No.98	7C-FB	(FEP30)
	ヨ ビ	—C—	(FEP30)
	ヨ ビ 電源	CV8 ⁸ -2C	(FEP50)
	ITVカメラ電源	CV8 ⁸ -2C	(FEP50)
		—C—	(FEP50)x2

	← PP - 1	CV55°-3C E20	(FEP30)
	“ “	CPEVS1.2-10P	(FEP30)

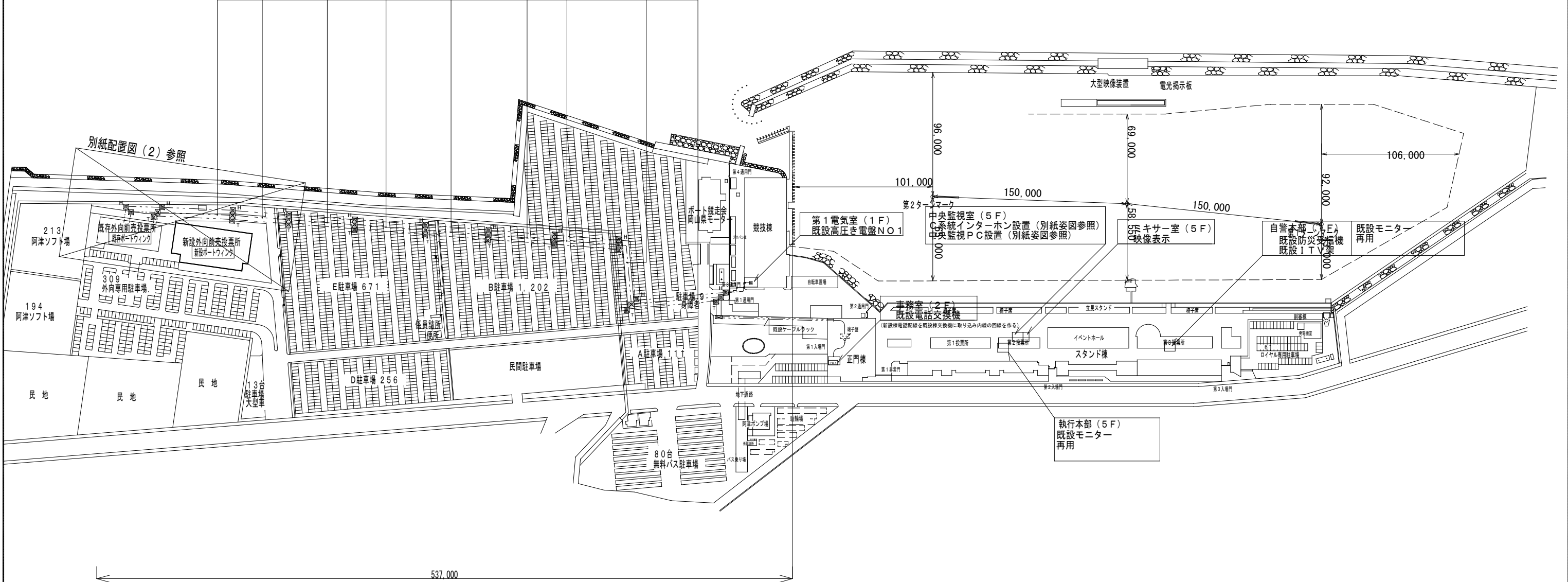
H	CP盤より	C	(FEP30)
I	電 話 用	CPEVS1.2-3P	(FEP30)

J	6KV CVT60°	(FEP80)
	C	(FEP80)

K	501:CVT60°	(FEP80)
---	------------	---------

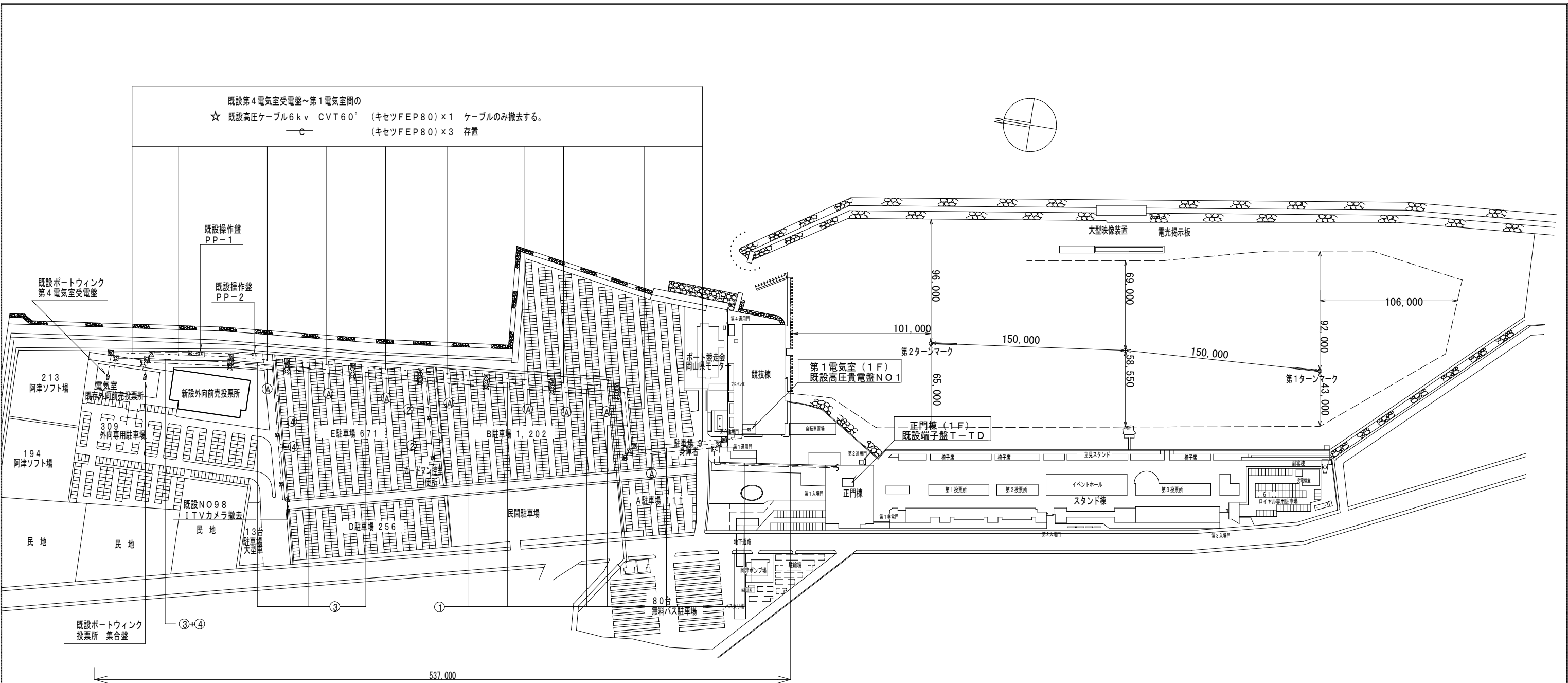
會敷市建設局建築設備課		担当			
工事名		倉敷市児島ターボート競走場外向前売投票所電気設備工事			
図名		構内線路設備図(2)			
株式会社 鎌田建築設計		1級建築士事務所登録 東京都第3592号			
1級建築士登録第4979 鎌田 守 逸		設 計 担 当		平成 9 年度工事 9 年 7 月作成	
		 		図案 E - 48/5	

既設配管に新設ケーブル入線 EM-CCP0. 65-10P (キセツFEP80) 電話 (本場正門棟2F事務所既設電話交換機~新設投票所事務室交換機)	
CPEVS 1.2-10P 既設ケーブル再用 (キセツFEP80) C系統インターホン (本場5F中央監視室交換機~新設投票所事務室総合盤)	
7C-FB 既設ケーブル再用 (キセツFEP80) ITV (本場5F執行本部液晶モニター~新設投票所警備員詰所監視カメラ装置)	
CPEVS 1.2-10P 既設ケーブル再用 (キセツFEP80) 緊急インターホン (本場5F中央監視室インターホン交換機 (緊急系) ~新設投票所事務室総合盤)	



完成図

倉敷市 建設局 建築部 公共設備課		図 1	信 平
倉敷市児島モーターボート競走場外向前売投票所増築電気設備工事			
配置図 (3) 新設図		縮 尺	S=1:1500 (A1) S=1:3000 (A3)
株式会社 大阪電設		一級建築士事務所 知事登録第 2-3234号	
代表となる設計者 一級建築士 第 211145 号 朝野 佳典	設計係 朝 野 西 山	平成27年 12月作成	図 1 E- 06/47



①	CPEVS1. 2-30P	(キセツFEP80)	電話	既設ポートウイंक集合盤	～	正門棟1F端子盤T-1D
	CPEVS1. 2-10P×2		インターホン	既設ポートウイंक集合盤	～	正門棟1F端子盤T-1D
	◎ CVVS5. 5° -10C	(キセツFEP80)	タイムカード	既設ポートウイंक集合盤	～	正門棟1F端子盤T-1D
	☆ CVVS5. 5° -10C		予備	既設ポートウイंक集合盤	～	正門棟1F端子盤T-1D
	HPS1. 2-10P ×2	(キセツFEP80)	放送	既設ポートウイंक集合盤	～	5F中央監視室5T-6
	◎ HPS1. 2-5P		火報	既設ポートウイंक集合盤	～	1F旧自警本部RS-13
	KPEVS0. 75-5P×2	(キセツFEP80)	表示器	既設ポートウイंक集合盤	～	2F CPU室
	◎ 7C-FB ×7		ITVカメラ	既設ポートウイंक集合盤	～	1F旧自警本部端子盤 ～ 1F自警本部モニター盤
	光ファイバー(A)	(キセツFEP80)	実況テレビ	既設ポートウイंक集合盤	～	5Fミキサー室機器収納ラック
	CPEVS1. 2-5P		予備	既設ポートウイंक集合盤	～	1F旧自警本部端子盤
	CVVS5. 5° -2C ×2	(キセツFEP80)	中央監視設備	既設ポートウイंक電気室RF-1	～	5F中央監視室
	CVVS2° -20C ×3		中央監視設備	既設ポートウイंक電気室RF-1	～	5F中央監視室
	CPEVS1. 2-5P	(キセツFEP80)	中央監視設備	既設ポートウイंक電気室RF-1	～	5F中央監視室
	光ファイバー(B)		中央監視設備	既設ポートウイंक電気室RF-1	～	5F中央監視室
	—G—	(キセツFEP80) ×4				
	—G—	(キセツFEP50) ×1				
	—G—	(キセツFEP30) ×1				
④	7C-FB	(キセツFEP30)		既設ポートウイंक	～	ITVカメラN098
	—G—	(キセツFEP30)		予備		
	CV8-2C	(キセツFEP50)		既設ポートウイंकLM-1	～	案内板
	CV8-2C	(キセツFEP50)		既設ポートウイंकLM-1	～	ITVカメラN098
	—G—	(キセツFEP50)×2		予備		

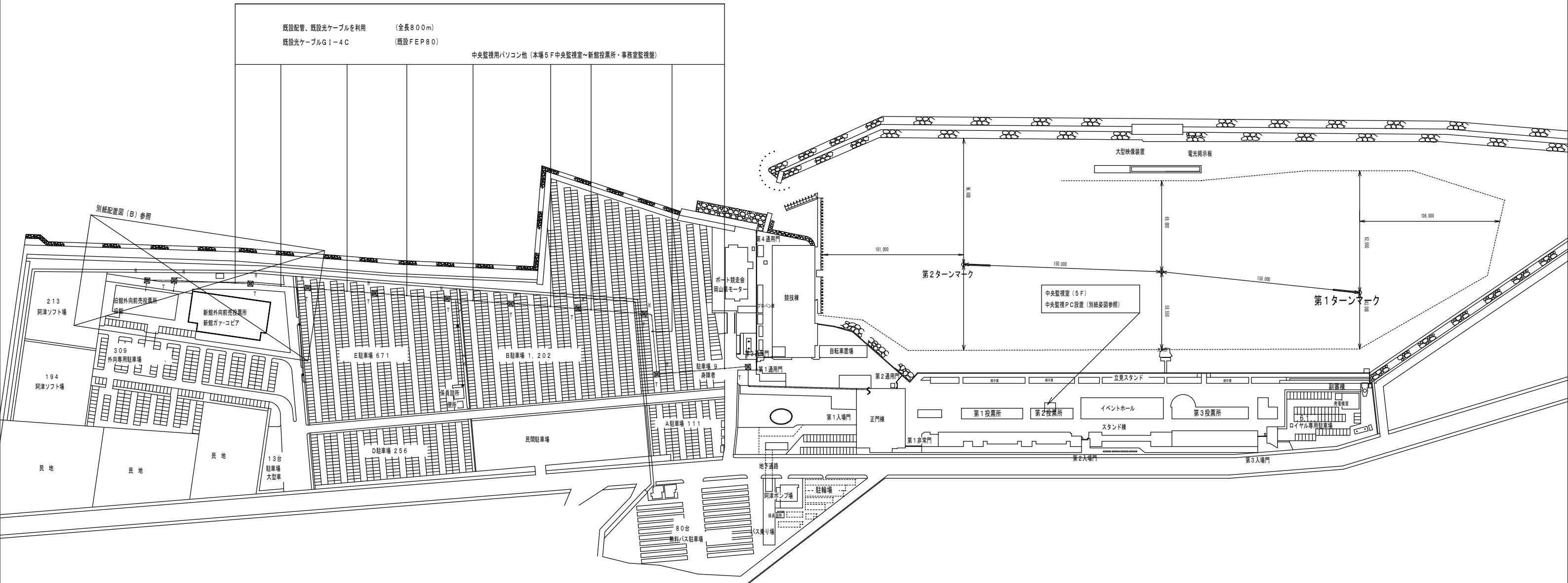
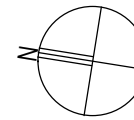
②	CVT60	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक電気室	～	ガードマン控室LPT-1
	CPEVS1. 2-10P	(キセツFEP80)	キセツ正門棟1F(T-1D)	～	ガードマン控室T-1
	CPEVS1. 2-30P	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक集合盤	～	キセツ正門棟1F(T-1D)
	CPEVS1. 2-10P		既設ポートウイंक集合盤	～	キセツ正門棟1F(T-1D)
	◎ CVVS5. 5-10C	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक集合盤	～	キセツ正門棟1F(T-1D)
	☆ CVVS5. 5-10C		既設ポートウイंक集合盤	～	キセツ正門棟1F(T-1D)
	CVT60	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक電気室	～	ガードマン控室LPT-1
	HPS1. 2-10P×2	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक集合盤	～	5F中央監視室5T-6
	◎ HPS1. 2-5P		既設ポートウイंक集合盤	～	1F旧自警本部RS-13
	KPEVS0. 75-5P×2	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक集合盤	～	2F CPU室
	◎ 7C-FB ×7		既設ポートウイंक集合盤	～	1F旧自警本部端子盤 ～ 1F自警本部モニター盤
	光ファイバー(A)	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक集合盤	～	5Fミキサー室機器収納ラック
	CPEVS1. 2-5P		既設ポートウイंक集合盤	～	1F旧自警本部端子盤
	CVVS5. 5° -2C ×2	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक電気室RF-1	～	5F中央監視室
	CVVS2° -20C ×3		既設ポートウイंक電気室RF-1	～	5F中央監視室
	CPEVS1. 2-5P	(キセツFEP80)	既設ポートウイंक電気室RF-1	～	5F中央監視室
	光ファイバー(B)		既設ポートウイंक電気室RF-1	～	5F中央監視室
③	—G—	(キセツFEP80) ×4			
	—G—	(キセツFEP50) ×1			
	—G—	(キセツFEP30) ×1			


A	—G—	(キセツFEP100)×2	トーター用
	—G—	(キセツFEP80) ×1	トーター用

注記
◎印のケーブルは既設利用する。☆印のケーブルは撤去する。それ以外のケーブルは存置

完成図

倉敷市 建設局 建築部 公共設備課			図 10
倉敷市児島モーターボート競走場外向前売投票所増築電気設備工事			
配置図 (3)	現況・撤去図	縮尺 S=1:1500 (A1) S=1:3000 (A3)	
株式会社 大坂電設		平成27年 12月作成	
代表となる設計者 一級建築士 第211145号 朝野 佳典	設計者 朝野 西山	図 10	E-07/47



工務局	倉敷市 建設局 建築部 公共設備課	担当	田中 浩
工事名	倉敷市児島モノターボ一ノ段走場外向前投光器増設機械設備工事		
図名	中央監視設備 配置図 (1)	縮尺	1/1500
 株式会社 大坂電機		一級建築士事務所 知事登録第2-2234号	
代表となる設計者		設計担当	平成21年 11月作成
一級建築士 田中 浩	図章 (田中 浩)	図章 (正木 隆)	図章 M= 32/35

倉敷市営繕工事特記仕様書

工 事 概 要

1	工事名称	倉敷市児島E-カーポート建設駐車場照明設置工事		建 物 概 要	棟	棟	棟	棟
2	工事場所	倉敷市児島元浜町6-3		構 造	造			
3	用途地域			建 築 面 積	m ²	m ²	m ²	m ²
4	防火地域	・ 防火地域	・ 準防火地域	床 面 積	1 階	m ²	m ²	m ²
5	文 化 財	・ 有	○ 無		2 階	m ²	m ²	m ²
6	工事範囲	・ 建築工事	○ 電気設備工事		3 階	m ²	m ²	m ²
7	別途工事	・ 機械設備工事			4 階	m ²	m ²	m ²
					敷地面積	m ²	延 べ 面 積	

工事仕様

1. 共通仕様

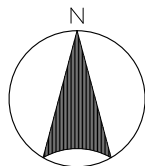
図面、特記仕様及び現場説明書（質問回答書）に記載されていない事項は、すべて下記による。ただし、公共住宅建設工事で、下記に記載されていない事項については、「公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局監修（平成16年度版）」による。

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------|
| ・公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編） | 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成16年版） |
| ・建築工事標準詳細図 | "（平成13年版） |
| ・公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、機械設備工事編） | "（平成16年版） |
| ・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編） | "（"） |

2. 特 記 仕 様

- (1) 下記によるほか別記（建築工事、電気設備工事、機械設備工事）特記仕様書による。
- (2) 項目は番号に 印のついたものを適用し、特記事項は 印のついたものを適用する。ただし、 印のない場合は 印を適用する。
- (3) 適用基準の〔倉〕は倉敷市建設局建築部公共建築課・公共設備課監修 〔国〕は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修を示す。

適 用 基 準	<p>○倉敷市営繕工事施工監理要領（倉）</p> <p>○建築工事監理指針（国）</p> <p>・建築改修工事施工監理指針（国）</p> <p>○消接工作基準日本建築学会</p> <p>○建築設備耐震設計、施工指針国土交通省住宅局建築指導課監修</p> <p>○倉敷市電気設備工事施工標準（倉）</p> <p>○電気設備工事監理指針（国）</p> <p>○自動火災報知設備工事基準書総務省、消防庁監修</p> <p>○倉敷市機械設備工事施工標準（倉）</p> <p>○機械設備工事監理指針（国）</p> <p>○工事写真の撮り方（倉）（国）</p> <p>○建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（国）</p> <p>○各種関係法令</p>	監 督 職 員 事 務 所	<p>設けない・設ける（建築で設けて電気、機械と共同利用）</p> <p>規模：（）㎡程度</p> <p>仕上：床 合板張り又はビニル床シート張り</p> <p>内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂珪藻土ボード塗り</p> <p>屋根 塗装溶融垂れ流れきり鋼板張り、又は鉄板張り、調合ベイト塗り</p> <p>休憩室 畳敷き</p>
疑 義	<p>本設計書に示す内容、その他疑義を生じた場合は、速やかに当市に連絡の上、入札前に疑義を正し施工者決定後における疑義を因にした事項についての請負代金額の増減は行わない。また、納り取合いなどによる請負代金額の増減は行わないことを原則とする。</p>	修 復 等	<p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、原則として既成にならない修復する。</p>
官 公 署 等 へ の 手 続	<p>工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他への必要の手続き等は請負者が速やかに行い、その費用は本工事に含む。</p>	発 生 材 の 処 理	<p>引渡しを要するもの 無 ・有（別記）</p>
提 出 書 類	<p>契約に必要な書類及び関係法令に規定されるもののほか、以下の書類について、倉敷市営繕工事施工監理要領に基づき提出すること。なお、このほかに各工事に監督職員から指示するものについては、協議の上、提出するものとする。</p> <p>工事着手前（＊印は請負代金額により必要な場合があるもの）</p> <p>○工事実施工程表 2部 ＊工程表 1部</p> <p>○使用資材承諾願 2部 ○現場代理人等選任届 2部</p> <p>○施工計画書 2部 ○下請負届出書 2部</p> <p>○工事内訳書 1部 ○着工前現状報告書 1部</p> <p>* 施工体制台帳 1部 ○工事実施状況報告書 部</p> <p>* 工事カルテ登録願 1部</p> <p>* 建設業退職共済組合証紙購入状況報告書 1部</p> <p>・ 通知に係る事前説明事項（建設リサイクル法） 1部</p> <p>・ 再生資源利用計画書 1部 ・ 再生資源利用促進計画書 1部</p> <p>工事完成時</p> <p>○工事写真、完成写真 ・ 監督日誌</p> <p>○工事完成届 ・ 材料検査簿</p> <p>○請求書 ・ 工事日報</p> <p>○工事完成確認報告書 ・ 工事材料搬入報告書（納品書）</p> <p>○発生材報告書 ・ 再資源化等報告書（建設リサイクル法）</p> <p>○再生資源利用実施書</p> <p>○再生資源利用促進実施書</p> <p>・ 工所用仮設電力、水道、ガス使用量報告書</p> <p>○完成図書（下記内容とする。）</p> <p>○A4版ファイル 2部</p> <p>・ 2つ折り製本 2部（完成図、施工図）</p> <p>・ 作品写真集 部（アルバム4つ切り）</p> <p>（建築・電気・機械で共同作成）</p>	建 設 廃 棄 物 の 処 理	<p>建設副産物適正処理推進要綱による</p> <p>収集運搬業者</p> <p>収集運搬を委託する場合</p> <p>（1）工事現場及び搬出先の県または市の「収集運搬」の許可を持っていること。</p> <p>（2）廃棄物が「取り扱う産業廃棄物の種類」に含まれていること。</p> <p>処分業者</p> <p>（1）埋立処分場や中間処分施設のある県または市の「処分」の許可を持っていること。</p> <p>（2）廃棄物が「取り扱う産業廃棄物の種類」に含まれていること。</p> <p>産業廃棄物処理の管理</p> <p>産業廃棄物の処理委託に際しては、厚生労働省が定めた「マニフェストシステム実施要綱」によること。</p> <p>建設副産物のうち再生資源としての有価物</p> <p>・ 無 ・ 有</p> <p>（ 有る場合は再生事業者に引渡し、それを証明する ） 書類を提出すること。</p> <p>建設リサイクル法対象</p> <p>○ 無 ・ 有（建設リサイクル法を準用する場合を含む）</p> <p>（ 有る場合は契約書記載事項について協議が必要 ）</p>
施 工 図、製 作 図 等	<p>施工に先立ち監督職員と十分協議の上、施工図、原寸図、製作図、製作仕様書、見本等を必要に応じて速やかに監督職員に提出して、当市の承諾を受ける。</p>	建 設 リ サ イ ク ル 法	<p>建設リサイクル法対象</p> <p>○ 無 ・ 有（建設リサイクル法を準用する場合を含む）</p> <p>（ 有る場合は契約書記載事項について協議が必要 ）</p>
C A D データ	<p>・ 無 有（ファイル形式）JWW ・ （ ）</p> <p>貸与するCADデータを本工事の施工図または完成図の作成のため以外に使用してはならない。</p>	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物	<p>無 ・ 有</p>
使用資材	<p>工事の資材及び労務は倉敷市内での調達を優先すること。</p>	揮 発 性 有 機 化 合 物 等 の 室 内 濃 度 の 測 定	<p>指定した室を文部科学省の「学校環境衛生の基準」（15文科第402号）に基づき、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、基準値以下であることを確認し、監督職員に報告する。（パラジクロロベンゼンを除く。）</p> <p>（測定場所 カ所）</p> <p>測定法 パッシブ法（拡散方式） ・ アクティブ法（吸引方式）</p>
下請業者の選定	<p>工事の一部を下請負させる場合は倉敷市内業者を優先すること。</p>	工 事 加 工 の 作 成、登 録	<p>請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サ・ビス（CORINS）に基づき受注変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。</p> <p>（ただし、工事請負代金額500万円以上2500万円未満の工事については、受注・訂正時のみとする。）また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。</p>
工事用水道、電力等の料金	<p>完成引渡しまでの水道、電力等の基本料金、使用料金は請負者の負担とする。但し、本受電後の基本料金を除く。</p>	建 設 業 退 職 金 共 済 制 度	<p>請負者は、建設業退職金共済組合に加入し、工事請負代金額が1000万円以上の工事については、共済証紙を購入すること。また、現場事務所及び工事現場の出入口等の見易い場所に、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」（シール）を掲示するとともに下請業者が共済組合へ未加入の場合は、加入促進についても指導すること。</p>
負 担 金、検 査 料 等	<p>下記の負担金、検査料等は別途とする。</p> <p>電 気 （電力負担金）</p> <p>水 道 分枝負担金、工事検査監督費、路面復旧費</p> <p>工事負担金、監理負担金</p> <p>都市ガス （工事負担金） 下 水 道 （受益者負担金）</p>		



倉敷市児島競艇事業局		
課 長		担 当
工 事 名 図 名	倉敷市児島モーターボート競走場駐車場照明設置工事	
	倉敷市営繕工事特記仕様書	
		平成 1 7 年度 工事 1 7 年 6 月作成
	図 番	E - 1 / 8

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

工事種目

○電 灯 設 備	・電 気 時 計 設 備	・テ レ ビ 共 聴 設 備	・受 変 電 設 備
・動 力 設 備	・拡 声 設 備	・火 災 報 知 設 備	・自 家 発 電 設 備
○避 雷 設 備	・表 示 設 備	・自 動 閉 鎖 設 備	○構 内 線 路 設 備
・電 話 配 管 設 備	・イン タ ー ホ ン 設 備	・警 備 配 管 設 備	・太 陽 光 発 電 設 備

一般共通事項


特記事項は・印のついたものを適用する。ただし、・印のない場合は 印を適用する。

項 目	特 記 事 項								
1 電 気 工 作 物 の 種 類	○事業用 ・一般用								
2 契 約 種 別	・従量電灯(・ A ・ B) ・ 低圧電力 ○業務用電力 ・ 公衆街路灯 ・ 定額電灯 ・								
3 機 材 等	本工事に使用する設備機材は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けること。 また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって、所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。								
4 機材の品質・性能証明	電気設備工事共通仕様書第1編第1章第4節1.4.1「機器及び材料の品質等」(b)による。								
5 電 気 工 事 士	契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。								
6 配 線 ・ 配 管 材 料	電線、ケーブル、同付属品及び電線管、同付属品は J I S 規格表示工場製品とする。								
7 電 線 管 の 塗 装	露出配管で、鋼製電線管は下記の塗装を行う。 屋内：エッチングプライマー(JIS K 5633 1種) 1回塗り+鉛酸加シムさび止めペイント(JIS K 5629) 1回塗り+合成樹脂調合ペイント(JIS K 5516 1種) 2回塗り 調合塗料は、ホルムアルデヒド等の放散量を考慮し、F を使用する。 屋外：エッチングプライマー(JIS K 5633 1種) 1回塗り+鉛酸加シムさび止めペイント(JIS K 5629) 1回塗り+合成樹脂調合ペイント(JIS K 5516 2種) 2回塗り								
8 呼 び 線	・ 不用 長さ1m以上入線しない管路には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 (上階増設用予備配管を除く)								
9 フラッシュプレート	・ ステンレス ・ 合成樹脂 ・ ガ-プレート 新金属								
10 フロアープレート	水平高低調整付プレート(空転防止リング付とする。)								
11 ブルボックス仕上げ等	金属ブルボックスの露出部はメラミン焼付け指定色塗装とする。								
12 ブルボックス・ブランクカバー等の用途別表示	電灯(灯)、動力(動)、電話(電)、電気時計(時)、放送(放)、表示(表)、インター(イ)、テレビ共聴(TV) 火災報知(火)、警備(警)、防火扉(扉)、警報(報)、電極・電磁弁(制) 屋内：シール 屋外：エッチング又はアルミシール 配管配線の経路、電線サイズ、電線本数及び管路サイズなどは、監督職員と協議により、図面表示と多少増加させてよい。								
13 電 線 本 数 ・ 管 路 等	盤及びブルボックス内は丸札、ハンドホール内はプラスチック板エッチングにて下記の表示を行う。 幹線：用途、線種、経路 分岐：回路名(番号)								
14 電 線 の 表 示	原則として、肉厚0.5mm以上の圧着スリーブを使用する。								
15 接 続 ス リ ー ブ	黄銅製又はステンレス製ビスを使用する。								
16 配線器具の取付ビス	フックボルト(DV 1 4 [□] 相当以下) アンカーボルト(DV 2 2 [□] 相当以上)								
17 引 留 め 金 物 等	・コード付又はダウンライト以外の蛍光灯は全て接地する。								
18 照 明 器 具 の 接 地	・接地線は原則としてIV1.6mm以上とする。ただし、ケーブルの心線数を追加して、(配線と同一 サイズ) 使用してもよい。								
19 接 地 極	右記による。 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th><th>接 地 極</th></tr> <tr> <td>接地抵抗 1 0 以下</td><td>E P 9 0 0 × 9 0 0 × 1 . 5 t</td></tr> <tr> <td>" 5 0 以下</td><td>E P 5 0 0 × 5 0 0 × 1 . 5 t</td></tr> <tr> <td>" 1 0 0 以下</td><td>E B 1 4 - 1 5 0 0 mm × 1 (銅棒)</td></tr> </table>	種 別	接 地 極	接地抵抗 1 0 以下	E P 9 0 0 × 9 0 0 × 1 . 5 t	" 5 0 以下	E P 5 0 0 × 5 0 0 × 1 . 5 t	" 1 0 0 以下	E B 1 4 - 1 5 0 0 mm × 1 (銅棒)
種 別	接 地 極								
接地抵抗 1 0 以下	E P 9 0 0 × 9 0 0 × 1 . 5 t								
" 5 0 以下	E P 5 0 0 × 5 0 0 × 1 . 5 t								
" 1 0 0 以下	E B 1 4 - 1 5 0 0 mm × 1 (銅棒)								
20 接 地 極 埋 設 標 識	・接地標識杭(埋設標識杭と同形) 黄銅板製(彫り込み式) ・ステンス板製 ・接地埋設標識ピン								
21 ハンドホール、マンホール	ハンドホール、マンホール内ではケーブル支持材又はコンクリートブロック(コンシート取付)等でケーブルを支持する。 鉄蓋は鋳型流し込みで用途名を表示する。 鎖はステンレス製とし、シャックルで固定する。								
22 防火区画貫通部の耐火処理	電線管、金属ダクト、ケーブル枒等が防火区画を貫通する場合は、建築基準法による施工を行う。								
23 再 使 用 機 器	取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗の測定のうえ取付け。								
24 絶縁、接地抵抗の測定	工事前手前に既存の電気設備の絶縁、接地抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。								
25 既存の改造・増設	今回改造、増設するものについては、既存を含め図面を修正し完成図として納める。								
26 P C B 使用機器の撤去	撤去する器具類で P C B 使用のコンデンサ、安定器等は「特別管理産業廃棄物保管基準(廃棄物処理法施行規則第9条の1 3)に基づき保管する。ただし、保管場所は別途指示する。								
27 絶縁油中の P C B 分析	変圧器、進相コンデンサー、遮断器などの絶縁油中の P C B 分析は下記による。 分析方法 G C - E C D 法(ガスクロマトグラフ) 分析定量下限値 0.1mg/kg (0.1ppm)								
28 屋外配管・機器の取付	屋外配管、機器の取付材はステンレス製又は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 屋外取付材のブルボックス及び盤類には水抜き穴を設ける。								
29 予 備 品 ・ 工 具	・照明器具のランプ(別記) ・配分電盤ヒューズ、ランプは現用数 ・ハンドホール操作工具 ・								

[illegible]

盤共通仕様

特記事項は 印のついたものを適用する。ただし、・印のない場合は 印を適用する。

項 目	特 記 事 項
1 キ ャ ビ ネ ッ ト	既製品使用 ・有 ・無 屋内形：S P C 指定色焼付塗装、平面ハンドル鍵付 屋外形：屋根、防水平面ハンドル鍵付 ・ S P C , Z S - 1 6 0 処理後指定色塗装 ・ S U S 3 0 4 指定色塗装 ・ S U S 3 0 4 ヘアライン仕上げ
2 盤 名 称	電灯盤 動力盤 端子盤 保安器盤 安定器盤 等を標準とする。
3 回 路 ・ 機 器 名 称	エッチングプレート又はタイプ印字した紙を、カードホルダーに挿入したものとする。
4 機 器	M C C B 配線用しゃ断器 N S ニュートラルスイッチ C B 家庭用安全ブレーカー M C 電磁接触器 E L C B 漏電しゃ断器 リモコンリレー (A) 電流計(赤針付とする)  リモコントランス
5 非 実 装 回 路	単相3線式電路に設ける電灯盤の主幹M C C B、E L C Bは中性線欠相保護機能付とする。 破線表示の機器は非実装とするが、実装のための加工は全て行い、必要に応じて「ラック」内の取付けを行う。 分岐銅バーについては納品する。
6 庫 の 接 地	庫面に強電機器(60V以上)を取付けける場合は、網導体にて庫を接地する。
7 電 線 ・ ケ ー ブ ル	盤内配線に使用する絶縁電線・ケーブルは、可能な限り環境対策型を使用する。



配管・ボックスの表記

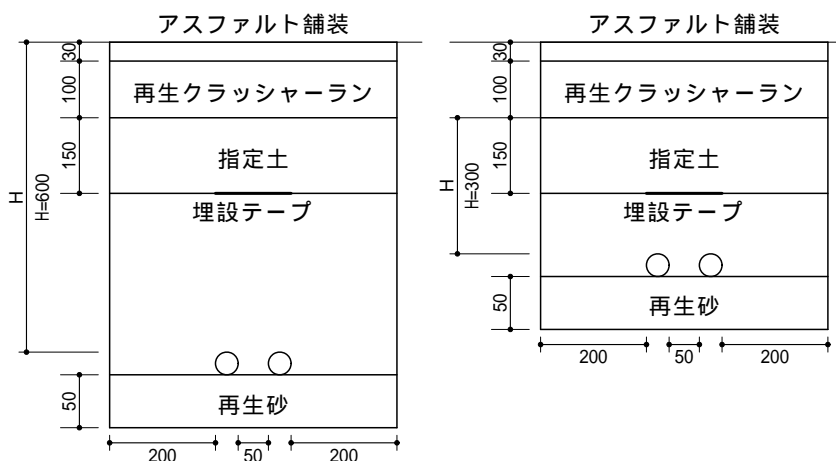
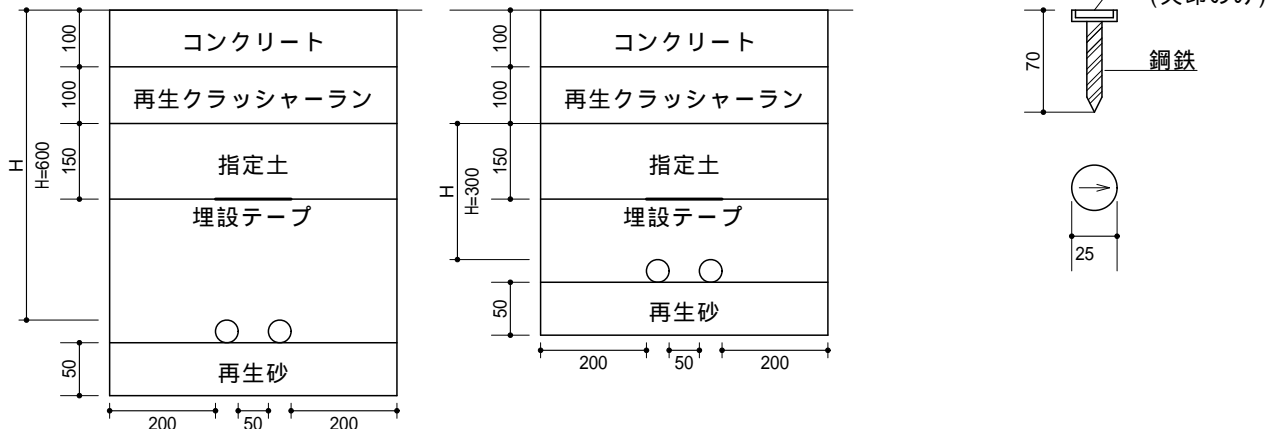
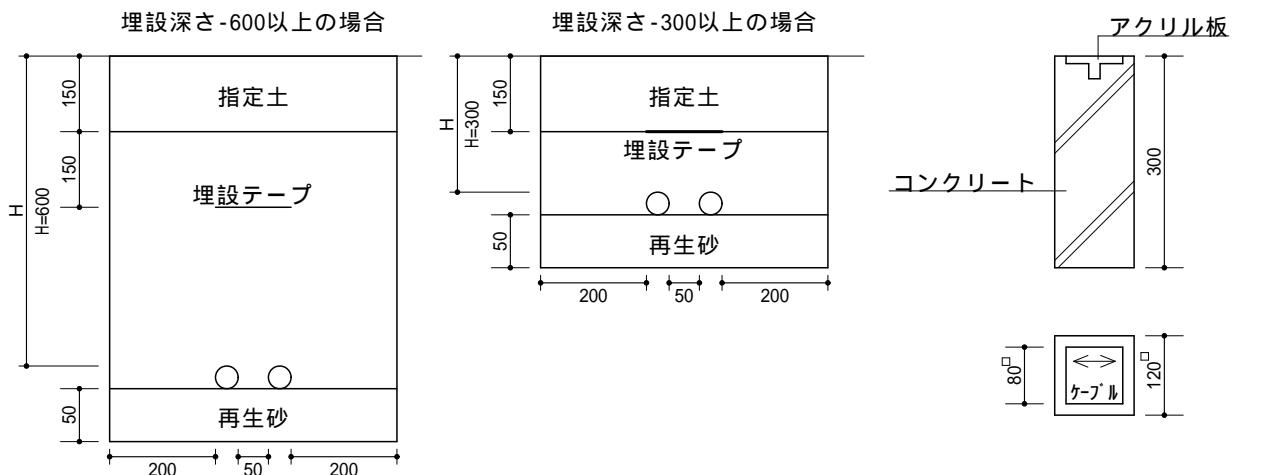
1 図中特記なきものは下記とする。

項	目	特	記	事	項
1	電 線 管 等	図中表記なき電線管は下記とする。 ネジなし（Ｅ） 薄鋼（Ｃ） 厚鋼（Ｇ） 硬質ビニル管（ＶＥ） ２種可とう電線管（Ｆ２） ＣＤ管（ＣＤ）		合成樹脂可とう電線管（ＰＦ）〔１重管とする〕 耐衝撃性硬質ビニル管（ＨＩＶＥ） 難燃性硬質波付ポリエチレン管（ＦＥＰ） ビニル被覆付２種可とう電線管（Ｆ２ＷＰ） ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管（ＰＥＧ）	
2	電 線 管 の 施 工	電線管の施工方法の表記は下記による。 （ ）いんべい (())露出 （キセツ）既設管に入線 カラーＶＥ、カラーＨＩＶＥの使用。 ＶＥ、ＨＩＶＥを露出箇所に使用する場合は、カラーＶＥ、カラーＨＩＶＥを原則とする。			
3	エントランスキャップ ・ターミナルキャップ	エントランスキャップ〔ＥＣ〕 ターミナルキャップ〔ＴＣ〕			
4	メタルモールジング	メタルモールジング Ａ，Ｂ型 （ＭＭ－Ａ） （ＭＭ－Ｂ） ジャンクションボックス Ａ，Ｂ型 [ＭＪＢ－Ａ] [ＭＪＢ－Ｂ] スイッチホックス１ヶ用 Ａ，Ｂ型 [ＭＳＢ－Ａ] [ＭＳＢ－Ｂ] スイッチホックス２ヶ用 Ａ，Ｂ型 [ＭＳＢ２－Ａ] [ＭＳＢ２－Ｂ] メタルモールジング Ｃ型 （ＭＭ－Ｃ） ジャンクションボックス Ｃ型 [ＭＪＢ－Ｃ] スイッチホックス２ヶ用 Ｃ型 [ＭＳＢ２－Ｃ]			

地中埋設仕様

特記事項は 印のついたものを適用する。ただし、・印のない場合は 印を適用する。

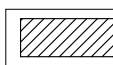
項 目	特 記 事 項
1 埋 戻 し 土	掘削土の中の良質土又は監督員の承諾する土とする。 余盛りは土質に応じて行い、砂利又は碎石を入れる。 指定土については現場に応じて特記にて指定、指定なき場合は掘削周辺と同一とする。 締固め（転圧）は埋戻し30cm以下毎に行う。
2 残 土 処 理	場内敷ならし ・ 場外任意処分 ・ 場外指定処分
3 テ ー プ ・ 標 識	埋設テープは複式（2倍折り以上）とする。 ケーブル埋設標識ピンは下図参照、図示する箇所（図示記号  ）に設ける。 ケーブル埋設標識杭は下図参照、図示する箇所（図示記号  ）に設ける。 ケーブル埋設表示板は80 [□] アルミ板とし、白地に埋設方向を示す矢印（電力用赤、通信用黄）及びケーブル又は高圧ケーブルの文字（黒）をエッチングにて記入する。 接地表示板は、80 [□] アルミ板とし、白地に標準図に示す接地種別の表示（黒）をエッチングにて記入する。
4 そ の 他	ハンドホール穴の穴明けは、ダイヤモンドカッターを使用する。 埋設断面は下図参照。




工 事 名	倉敷市児島E-ターボ-1競走場駐車場照明設置工事		
	電気設備工事特記仕様書		
図 名	倉敷市児島競艇事業局		
		設 計 担 当	平成17年度工事
			17年 6月作成
			図 番




注記

 の箇所は、GL-600 アスファルト撤去復旧を示す

A	主照明灯幹線CET38	(既設FEP)
	残置照明灯幹線CET22	(既設FEP)

B	P-1照明塔主照明灯	CE8 -3C	(FEP50)
	P-1照明塔残置照明灯	CE5.5 -3C	
		予備	(FEP50)

C	P-2照明塔主照明灯	CET22 (既設FEP)
	P-2照明塔残置照明灯	CET14 (既設FEP)

D	P-2照明塔主照明灯	CET22	(FEP65)
	P-2照明塔残置照明灯	CET14	
		予備	(FEP50)

凡例

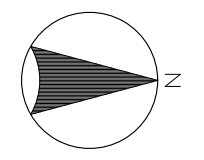
記号	名称	仕様
	マンホール	既設
	照明鉄塔	主照明灯 6 灯・残置照明 2 灯

イ レジン注入形接続ｷｯﾄ

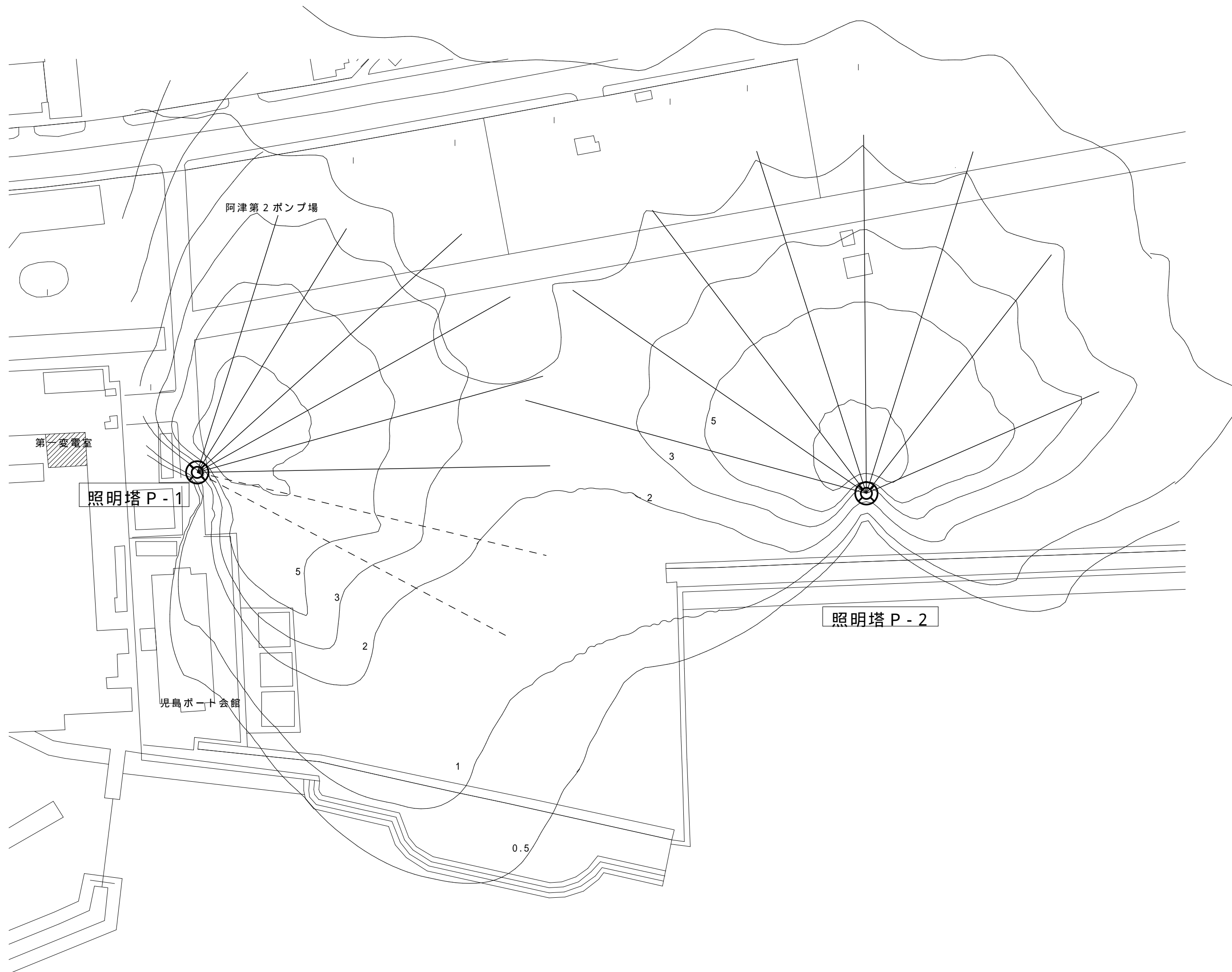
1 次 側	2 次 側	接続器
CET38	CET22	Y2
	CE8 -3C	
CET22	CET14	Y2
	CE5.5 -3C	

ロ レジン注入形接続ｷｯﾄ
(照明塔P-2ポール内)

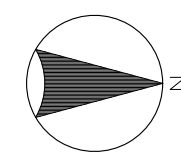
1 次 側	2 次 側	接続器
CET22	CE5.5 -3C	M2
CET14	CE5.5 -3C	M2



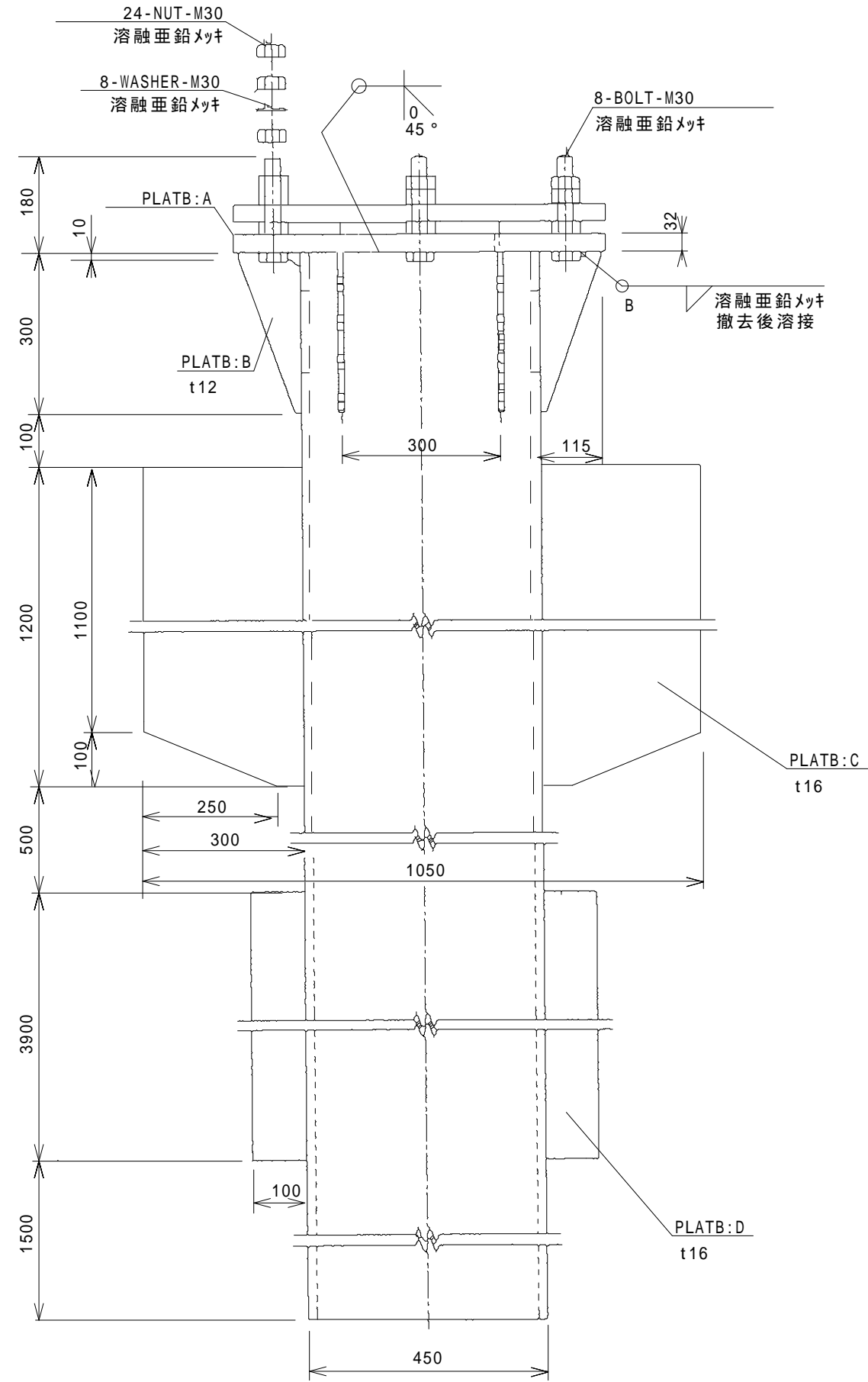
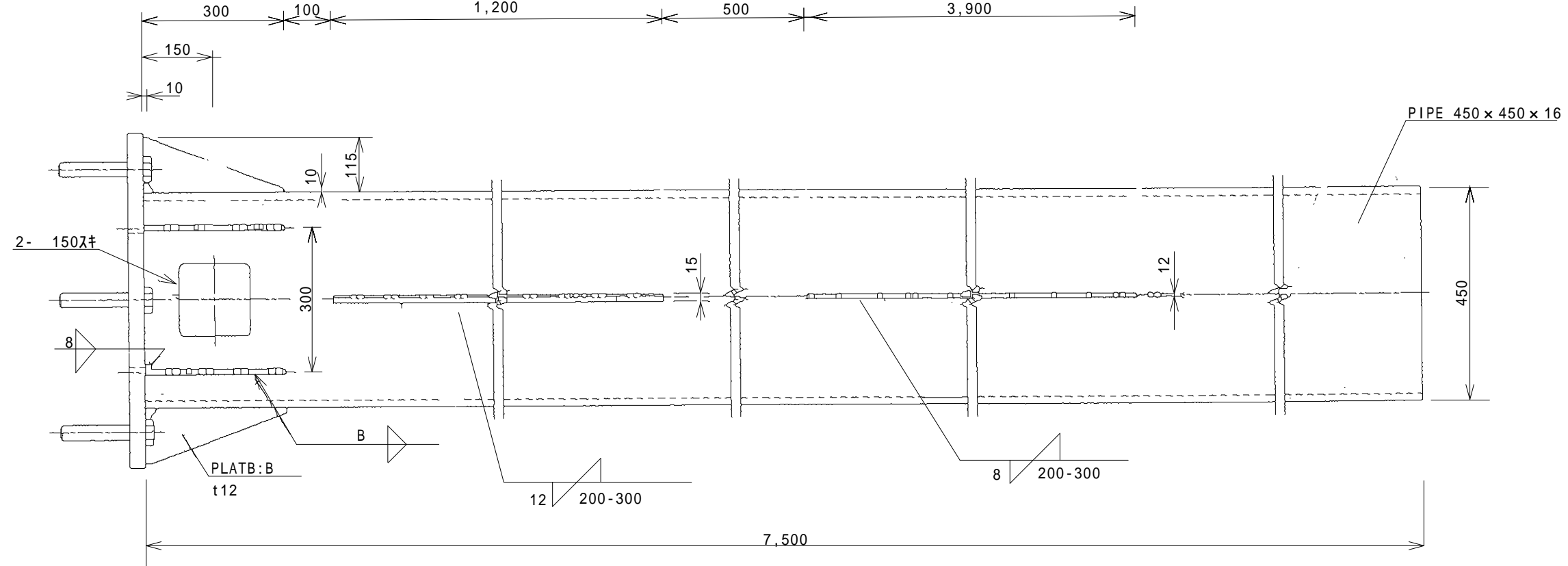
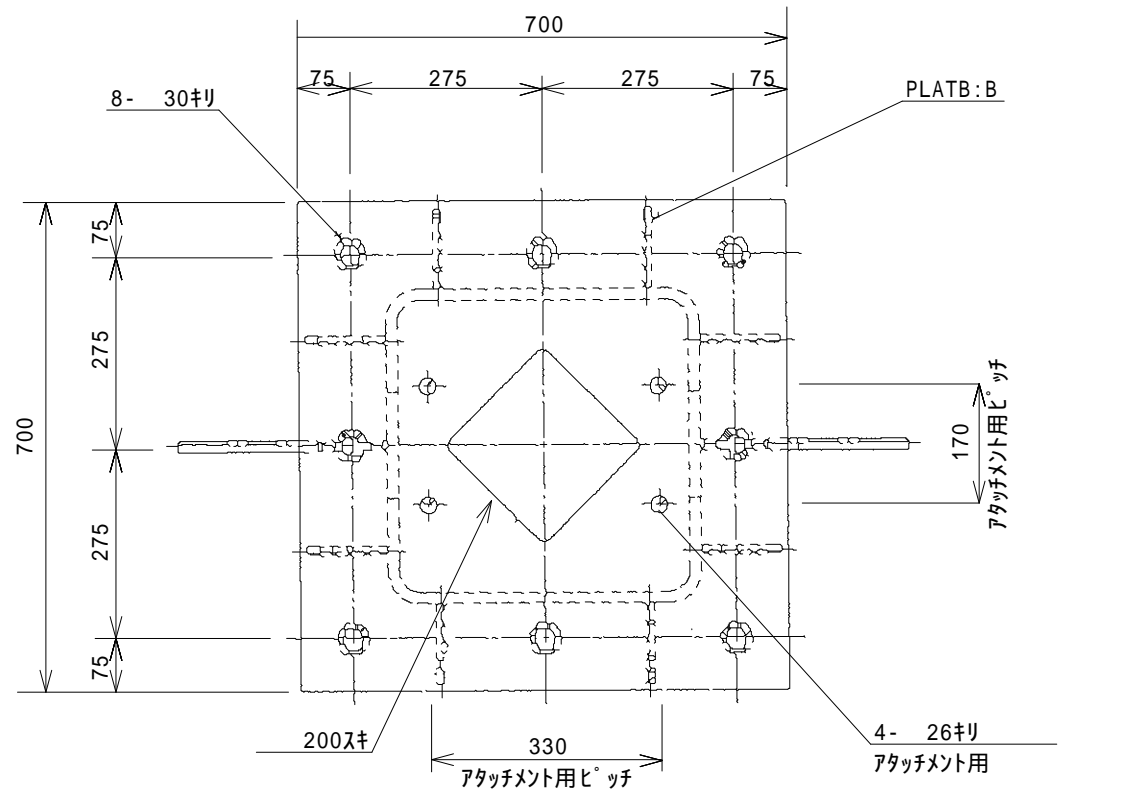
工 事 名	倉敷市児島モーターボート競走場駐車場照明設置工事		
	照明設備平面図		
図 名	倉敷市児島競艇事業局		
		設 計 担 当	平成17年度工事
			17年 6月作成
		図 番	E - 3 / 8



注記
波線の箇所は、ルバー取付ヶ所



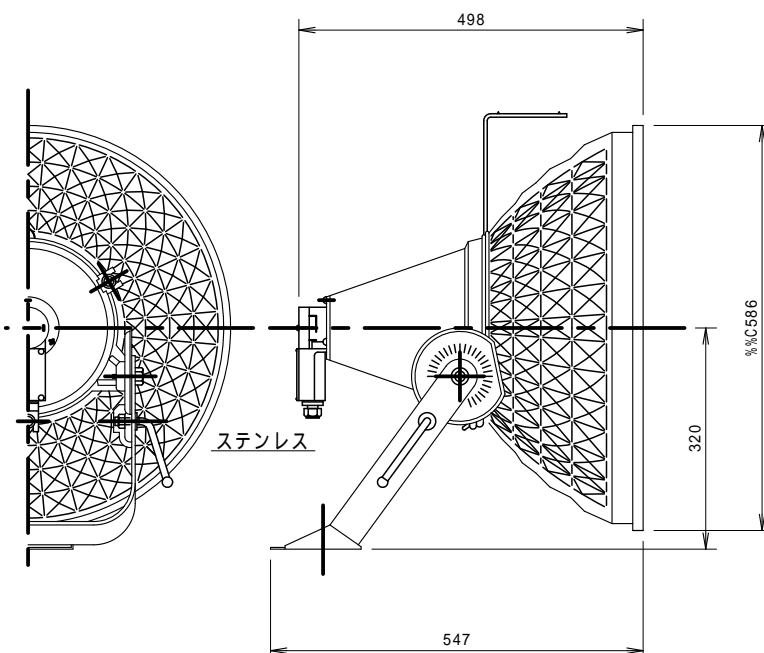
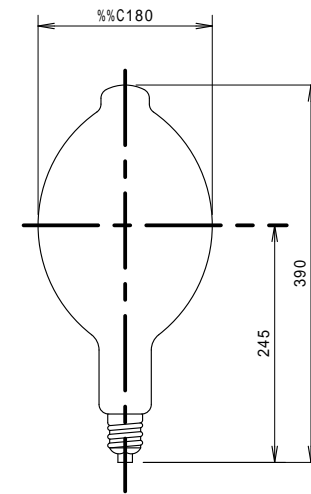
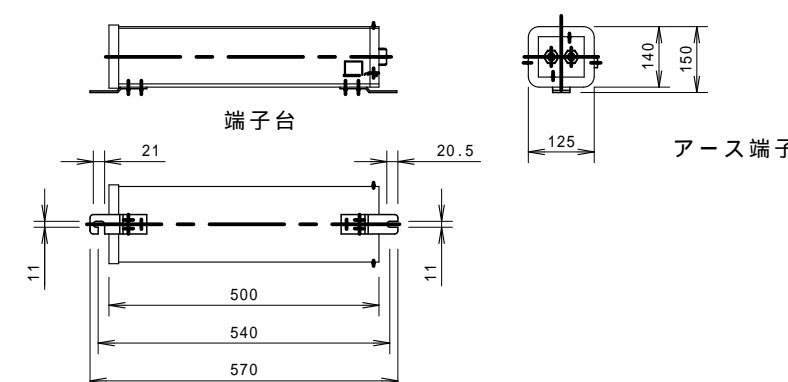
工 事 名	倉敷市児島ボート競走場駐車場照明設置工事		
	照明照度平面図		
図 名	倉敷市児島競艇事業局		
	設 計 担 当	平成17年度工事	
		17年 6月作成	
図 番		図	番
		E -	5 / 8



種別	規格・材質	寸法・強度区分	単質 (kg)	数量	質量 (kg)
BOLT	JIS B 1180 全ねじ六角ボルト	M30 x L180 -4.6(溶融亜鉛メッキ)	1.00	8	8.0
NUT	JIS B 1180 六角ナット	M30 -4 (溶融亜鉛メッキ)	-	24	-
WASHER	JIS B 1180 並丸	M30 (溶融亜鉛メッキ)	-	8	-
PLATB:A	JIS G 3101 SS400	32 x 700 x 700	123.09	1	123.1
PLATB:B	JIS G 3101 SS400	12 x 115 x 300 x 1/2	1.62	8	13.0
PLATB:C	JIS G 3101 SS400	16 x 300 x 1200	45.22	2	90.4
PLATB:D	JIS G 3101 SS400	12 x 100 x 3900	36.74	2	73.5
PIPE	注 1)	450 x 450 x 16 L=7500	1582.50	1	1582.5
TOTAL					1890.5

工事名 図名	倉敷市児島モーターボート競走場駐車場照明設置工事		
	ポールアンカー図		
	倉敷市児島競艇事業局		
	設計担当	平成17年度工事	
図番		17年6月作成	
		E - 7 / 8	

機 器 参 考 図

中 角 形 投 光 器	メタルハライドランプ （M1500B/BH）	パルス進相形安定器 （M1500B/BH用）																																														
<div>H566DX</div> 	 <table><tr><th>項 目</th><th>単 位</th><th>規 格</th></tr><tr><td>ラ ン プ 電 圧</td><td>V</td><td>230</td></tr><tr><td>ラ ン プ 電 流</td><td>A</td><td>6.9</td></tr><tr><td>全 光 束</td><td>lm</td><td>160 000</td></tr><tr><td>平 均 寿 命</td><td>h</td><td>6 000</td></tr></table>	項 目	単 位	規 格	ラ ン プ 電 圧	V	230	ラ ン プ 電 流	A	6.9	全 光 束	lm	160 000	平 均 寿 命	h	6 000	<div>ステンレス</div>  <table><tr><th>項 目</th><th>単 位</th><th>規 格</th></tr><tr><td>入 力 電 圧</td><td>V</td><td>200</td></tr><tr><td>周 波 数</td><td>Hz</td><td>60</td></tr><tr><td>入力電流</td><td>始 動 時</td><td>A 8.5+10%以下</td></tr><tr><td></td><td>安 定 時</td><td>A 8.5 ±0.1 10%</td></tr><tr><td>入 力 電 力</td><td>W</td><td>1600 ±0.1 10%</td></tr><tr><td>力 率</td><td>%</td><td>95 - 5% 以上</td></tr><tr><td>二 次 電 圧</td><td>V</td><td>300 ± 10%</td></tr><tr><td>二 次 短 絡 電 流</td><td>A</td><td>7.85 + 15%以下</td></tr><tr><td>ラ ン プ 電 流</td><td>A</td><td>6.9</td></tr></table>	項 目	単 位	規 格	入 力 電 圧	V	200	周 波 数	Hz	60	入力電流	始 動 時	A 8.5+10%以下		安 定 時	A 8.5 ±0.1 10%	入 力 電 力	W	1600 ±0.1 10%	力 率	%	95 - 5% 以上	二 次 電 圧	V	300 ± 10%	二 次 短 絡 電 流	A	7.85 + 15%以下	ラ ン プ 電 流	A	6.9	
項 目	単 位	規 格																																														
ラ ン プ 電 圧	V	230																																														
ラ ン プ 電 流	A	6.9																																														
全 光 束	lm	160 000																																														
平 均 寿 命	h	6 000																																														
項 目	単 位	規 格																																														
入 力 電 圧	V	200																																														
周 波 数	Hz	60																																														
入力電流	始 動 時	A 8.5+10%以下																																														
	安 定 時	A 8.5 ±0.1 10%																																														
入 力 電 力	W	1600 ±0.1 10%																																														
力 率	%	95 - 5% 以上																																														
二 次 電 圧	V	300 ± 10%																																														
二 次 短 絡 電 流	A	7.85 + 15%以下																																														
ラ ン プ 電 流	A	6.9																																														

工事
倉敷市児島モーターボート競走場駐車場照

工事 名 図 名	倉敷市児島モーターボート競走場駐車場照明設置工事		
	機器参考図		
倉敷市児島競艇事業局			
	設 計 担 当	平成17年度工事	
		17年 6月作成	
	図 番	E - 8 / 8	